

Title	場所依存の情報共有のための追加情報型サービスモデルを用いた共有掲示板の提案
Sub Title	Proposal of location based bulletin board system utilizing participation promotion function
Author	高田, 広平(Takada, Kohei) 杉浦, 一徳(Sugiura, Kazunori)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2012
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	<p>本研究では, 情報共有の手法に焦点を当て, 位置情報により人々を分類し, 限定された範囲で情報のやり取りが可能な共有掲示板システムを開発した. 共有掲示板システムを機能させるために情報の動機付け手法についても検討し, 情報の追加と共有を一貫して行う追加情報型サービスモデルを採用している. 既存の場所依存システムは情報が提示される範囲が広大であるため, 地図システム上に情報が溢れている. そのため, 情報を距離によって限定し, 情報共有環境を生成するという視点が欠けている. 本システムは, 場所依存でありながら, 距離によって情報を限定し, 位置情報に対応した情報共有環境を動的に生成する. また, 本論では人の徒歩圏内についての分析を行った.</p> <p>不動産流通研究所の調査によると徒歩圏内は現在地から半径800m以内と定義できるが, 本研究では情報との接触範囲として領域を現在地から半径300m以内に限定して共有掲示板システムを作成している. 現在地から半径300m以内に共有掲示板が存在しなければ共有掲示板を生成し, 存在すれば最寄りの共有掲示板へユーザーを分類することで, 位置情報によって振り分けられた空間で, 場所に特化した情報をユーザー同士で共有することが可能である. 本システムの評価を行うことで, システムの有効性を示す.</p>
Notes	修士学位論文. 2012年度メディアデザイン学 第239号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002012-0239

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

修士論文 2012年度（平成24年度）

場所依存の情報共有のための追加情報型
サービスモデルを用いた共有掲示板の提案

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

高田 広平

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士(メディアデザイン学)授与の要件として提出した修士論文である。

高田 広平

審査委員：

杉浦 一徳 准教授 (主査)

砂原 秀樹 教授 (副査)

太田 直久 教授 (副査)

修士論文 2012年度 (平成24年度)

場所依存の情報共有のための追加情報型 サービスモデルを用いた共有掲示板の提案

論文要旨

本研究では、情報共有の手法に焦点を当て、位置情報により人々を分類し、限定された範囲で情報のやり取りが可能な共有掲示板システムを開発した。共有掲示板システムを機能させるために情報の動機付け手法についても検討し、情報の追加と共有を一貫して行う追加情報型サービスモデルを採用している。既存の場所依存システムは情報が提示される範囲が広大であるため、地図システム上に情報が溢れている。そのため、情報を距離によって限定し、情報共有環境を生成するという視点が欠けている。本システムは、場所依存でありながら、距離によって情報を限定し、位置情報に対応した情報共有環境を動的に生成する。また、本論では人の徒歩圏内についての分析を行った。不動産流通研究所の調査によると徒歩圏内は現在地から半径800m以内と定義できるが、本研究では情報との接触範囲として領域を現在地から半径300m以内に限定して共有掲示板システムを作成している。現在地から半径300m以内に共有掲示板が存在しなければ共有掲示板を生成し、存在すれば最寄りの共有掲示板へユーザーを分類することで、位置情報によって振り分けられた空間で、場所に特化した情報をユーザー同士で共有することが可能である。本システムの評価を行うことで、システムの有効性を示す。

キーワード：

位置情報連動型サービス，センサー，掲示板，携帯端末，周辺情報

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

高田 広平

Abstract of Master's Thesis of Academic Year 2012

Proposal of Location Based Bulletin Board System
Utilizing Participation Promotion Function

Summary

We propose a system that categorizes people based on their location. The existing location-based systems do not provide specific distance limitation to the sharing of information among the users within the same vicinity. However, such systems may end up providing too much information to the users. Our system creates a location-based bulletin board, which enables people to share live updates. The participation promotion function will actively engage the users, as they will not be able to access the bulletin board until the content has been uploaded. According to the statistics of Real Estate Research Institute, walking distance is defined as the area within 800m from the present location. In this paper, we define the term "search distance" as the area within 300m from the present location. This number would be used as the range of location-based bulletin board. If any location-based bulletin board does not exist within 300m from the present location, the system will create a new bulletin board. However, if a location-based bulletin board can be found within 300m from the present location, users will be categorized to the nearest bulletin board. The evaluation experiment shows the system allowing people to share local information within the limited area.

Keywords:

Location-Based System, Sensor, Bulletin Board, Smartphone, Area Information

Graduate School of Media Design, Keio University

Kohei Takada